

# しんまちまえいせき 新町前遺跡

新町前遺跡は、市川三郷町市川大門に所在する遺跡で、峡南地域単位制・総合制高校建設事業に伴って調査されました。発掘調査により、平安時代の集落跡と中世の水田跡や畑跡が見つかりました。

本年度は、平安時代末から中世の住居跡約7軒、土坑等50基からなる集落跡や、中世の石積みを伴う大きな畦畔で区画された水田や畑を調査しました。その結果、新町前遺跡がさらに西側へ広がっている大変大きな遺跡であることがわかりました。

今回の調査では、何度も水害を受けながらも家を建て、田畑を耕し、市川の地で連綿と生活してきた人々の歴史や当時の農業土木技術の一部を成果として得ることができました。

(山梨県埋蔵文化財センター)